

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和元年 8月16日
19時17分10秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02557 スポーツセンター施設管理事業

所属長名 名倉 建志
担当者 岩井 政喜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	003	スポーツ施設環境の整備		
事務事業	004	スポーツセンター施設管理事業		
事業期間	平成13年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しくみづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	259,876	228,998	624,294
事業費	248,536	217,658	612,954
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	200,000
その他	48,601	55,182	162,534
一般財源	199,935	162,476	250,420
人件費計	11,340	11,340	11,340
正規（人）	1.80	1.80	1.80
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、平成31年度に実施する改修工事のための改修計画を作成	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、平成31年度に実施する改修工事のための設計を行う	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修工事を行う

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和元年 8月16日
19時17分10秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02557 スポーツセンター施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
施設利用者数	人	199,500.00 211,723.00	205,000.00 205,060.00	69,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	スポーツセンターと同様の施設は他にありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの方に利用していただいております、市民ニーズが多い施設です		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	猛暑の影響はありましたが、多くの方に利用していただきました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	窓口管理等を委託することで効率的な管理を行っています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	令和元年度及び令和2年度に実施の改修工事のため、設計を実施しました。 令和元年度より、特定天井の改修や老朽化した施設の改修工事を行っていきます。 スポーツは「健幸(ケンサチ)」のまちづくりに欠かすことができません。 今後も、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02559 レジャープール施設管理事業

所属長名 名倉 建志
担当者 岩井 政喜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目(施策)	002	2スポーツ		
施策の方針	003	スポーツ施設環境の整備		
事務事業	003	レジャープール施設管理事業		
事業期間	平成11年度 ~			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しくみづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民(利用者)が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、適切な施設の管理運営を行います。
事務内容	適正な施設の運営管理のための指定管理者へのモニタリング、施設設備の修繕等

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	103,172	73,722	520,429
事業費	98,132	68,682	515,389
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	100,000
その他	0	494	110,000
一般財源	98,132	68,188	305,389
人件費計	5,040	5,040	5,040
正規(人)	0.80	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	レジャープールの管理、運営(施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等)非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、平成30年度に予定する改修工事のための設計を実施	レジャープールの管理、運営(施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等)非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修工事を実施	レジャープールの管理、運営(施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等)非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修工事を実施

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756010 スポーツ施設管理係
事務事業 02559 レジャープール施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
施設利用者数	人	204,500.00 229,845.00	141,000.00 161,855.00	180,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内にはレジャープールと同様の設備はありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	昨年は改修工事がありましたが、多くの利用がありました		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標以上の利用者がありました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を利用し、効率的な管理を行っています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準については他自治体と比較して問題ありません		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成30年度は改修工事実施のため、9月2日までの開館でしたが、たくさんの方にご利用いただくことができました。 スポーツは「健幸(ケンサチ)」のまちづくりに欠かすことができません。 今後も、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和元年 8月16日
19時17分10秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02561 屋外体育施設管理事業

所属長名 名倉 建志
担当者 岩井 政喜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目（施策）	002	2スポーツ			
施策の方針	003	スポーツ施設環境の整備			
事務事業	002	屋外体育施設管理事業			
事業期間	昭和41年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	しくみづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕・改修等

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	640,680	199,585	235,379
事業費	624,300	183,205	218,999
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	335,466	28,154	25,112
一般財源	288,834	155,051	193,887
人件費計	16,380	16,380	16,380
正規（人）	2.60	2.60	2.60
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） ソフトボール場A球場の改修、陸上競技場夜間照明設備の改修設計、野球場防球ネット改修設計	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 陸上競技場夜間照明設備の改修、野球場防球ネットの改修	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） ソフトボール場B球場の防球ネットの改修設計及び改修工事、陸上競技場改修設計

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756010 スポーツ施設管理係
事務事業 02561 屋外体育施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
施設利用者数	人	289,200.00 285,025.00	289,200.00 275,158.00	289,200.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	一部の施設は民間等で実施していますが、全体としては不十分です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	利用者も多く、市民のニーズが高い施設です		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	記録的猛暑や改修工事により、利用者が減少しました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	管理を委託するなどし、事務改善を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	野球場の防球ネットの改修工事が終了し、場外へのボール飛び出しが減ったことで、より安全に利用していただくことができるようになりました。また、陸上競技場の夜間照明改修工事が終了し、夜間のサッカー利用の利便性が向上しました。 他の屋外施設も多くの方にご利用いただいています。 スポーツは「健幸(ケンサチ)」のまちづくりに欠かすことができません。 今後も、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和元年 8月16日
19時17分11秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02562 体育館施設管理事業

所属長名 名倉 建志
担当者 岩井 政喜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	003	スポーツ施設環境の整備		
事務事業	001	体育館施設管理事業		
事業期間	昭和54年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しくみづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	1,553,621	76,235	78,716
事業費	1,542,281	64,895	67,376
国庫支出金	4,333	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	450,000	0	0
その他	106,859	16,387	20,735
一般財源	981,089	48,508	46,641
人件費計	11,340	11,340	11,340
正規（人）	1.80	1.80	1.80
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、大規模改修工事を実施	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756010 スポーツ施設管理係
事務事業 02562 体育館施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
施設利用者数	人	28,920.00 29,725.00	214,500.00 213,920.00	214,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内には安城市体育館以外に体育館施設はありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	年間20万人の利用があり、市民ニーズが高い施設です		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	記録的猛暑でしたが、ほぼ目標どおりの利用がありました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	窓口業務を委託に出すなど、効率的な事務を実施しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成30年度はリニューアルオープンの年になりました。新しくなった体育館を多くの皆さまに利用していただくことができました。 安城市体育館は市民のスポーツの拠点となる施設です。 スポーツは「健幸（ケンサチ）」のまちづくりに欠かすことができません。 今後も、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02563 地域スポーツ振興事業

所属長名 名倉 建志
担当者 武内 雅子
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001 健康			
項目(施策)	002 2スポーツ			
施策の方針	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	006 地域スポーツ振興事業			
事業期間	昭和41年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト	地方創生	健幸
根拠法令等	スポーツ推進委員に関する規則、小中・県立学校施設開放実施要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・地域スポーツ振興事業 ・歩け・ランニング運動事業 ・総合型地域スポーツクラブ育成事業 ・市民地域スポーツ交流会開催事業 ・学校施設スポーツ開放事業			

【事業分析】

対象	普段あまりスポーツをしない市民が
目的	スポーツをするきっかけとなります。
手段	普段あまりスポーツをしない人にスポーツを体験してもらったり、スポーツする人にも経験のない種目を体験してもらうなど、からだを動かす楽しさを感じてもらいスポーツ実施者の増加を図ります。
事務内容	スポーツ推進委員について、スポーツ推進委員の機関紙「マイスポーツ安城」だけでなく、生涯学習広報誌「あんでな」に紹介記事を掲載するなどさまざまな手段を使いPRを行いました。

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	49,954	20,480	23,265
事業費	40,819	15,440	18,225
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	2,851	3,153	5,000
一般財源	37,968	12,287	13,225
人件費計	9,135	5,040	5,040
正規(人)	1.45	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	地域スポーツ振興事業 市民地域スポーツ交流会事業 学校施設開放事業 歩け・ランニング運動	地域スポーツ振興事業 市民地域スポーツ交流会事業 学校施設開放事業 歩け・ランニング運動 ラジオ体操関係	地域スポーツ振興事業 市民地域スポーツ交流会事業 学校施設開放事業 歩け・ランニング運動 ラジオ体操関係

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02563 地域スポーツ振興事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
地域スポーツ振興事業参加者	人	9,000.00 8,894.00	9,000.00 7,471.00	8,000.00 0.00
市民地域スポーツ交流会参加者	人	4,400.00 3,460.00	4,000.00 3,164.00	4,000.00 0.00
学校施設スポーツ開放利用者	千人	260.00 273.00	270.00 260.00	270.00 0.00
歩け・ランニング運動参加者	人	7,800.00 7,183.00	7,000.00 7,808.00	7,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市主催の事業です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民ニーズの充足		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	気軽にできるウォーキングなど参加者が増えました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	計画通り進んでいます		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	参加者の動向を見ながら計画を立てています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	屋外の事業は天気によって左右されることがあり、中止になったものもありました。来年度からの小学校施設開放事業の変更事項についての大きなスケジュールと説明を、今年度の各小学校の施設開放運営委員会で利用者に伝えました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和元年 8月16日
19時16分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02564 スポーツ振興計画推進事業

所属長名 名倉 建志
担当者 河村 泰宏
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	005	スポーツ振興計画推進事業		
事業期間	昭和53年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法第30条、第31条			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・スポーツ推進審議会運営事務			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	教育委員会からの諮問に応じて、スポーツの推進に関する事項について調査審議し、その事項を建議する目的でスポーツ推進審議会を設置しています。 平成23年度にスポーツ基本法の改正があったことから、会の名称を「スポーツ推進審議会」としました。 第2次スポーツ振興計画策定委員会にて、具体的な計画の内容についての検討を行うことができました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	424	1,371	1,426
事業費	109	111	166
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	109	111	166
人件費計	315	1,260	1,260
正規（人）	0.05	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	スポーツ推進審議会開催（2回）	スポーツ推進審議会開催（2回）	スポーツ推進審議会開催（2回）

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02564 スポーツ振興計画推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の目標や政策を策定しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民アンケートなどでニーズの調査をします		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	事業の進捗管理をしています		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	審議会での事業内容の報告、確認をしています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市と随時情報交換をしています		

【1次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
1次コメント (400文字)	30年度は「みるスポーツ」を実施する機会が多く、カナダ代表合宿・日本リーグなど、市民の方に観戦してもらうことができました。ホームチームは応援はもとより、子どもたちや市民が応援したくなるような身近な存在と感じてもらえる策の検討が必要に感じました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

5 頁
令和元年 8月16日
19時16分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02565 野外センター開放事業

所属長名 名倉 建志
担当者 三浦 一彦
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	004	14生涯学習		
施策の方針	001	14生涯学習その他		
事務事業	003	野外センター開放事業		
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市野外センターの設置及び管理に関する条例、管理に関する規則			
備考				

【事業分析】

対象	近代生活に慣れた市民が
目的	自然の尊さに気づくようになります。
手段	安城市の野外センターは、作手野外センターと茶臼山野外センターの2箇所あります。 6月から9月まで小中学校が利用しない日を一般に開放し、多くの市民の方に利用してもらっています。 1泊2日でファミリーキャンプを計画しています。
事務内容	利用申込みの際、利用手順や利用マナー等の指導をし、利用者同士が快適に過ごせる指導をしました。

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	2,157	734	802
事業費	78	104	172
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	78	104	172
人件費計	2,079	630	630
正規(人)	0.33	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	野外センター一般開放 ファミリーキャンプ実 施	野外センター一般開放 ファミリーキャンプ実 施	野外センター一般開放 ファミリーキャンプ実 施

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02565 野外センター開放事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
野外センター利用者	人	800.00 1,068.00	800.00 1,025.00	800.00 0.00
ファミリーキャンプ参加者	人	50.00 61.00	50.00 53.00	50.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市主催の事業です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	自然の中で過ごすことを望まれる家族の利用があります		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	おおむね参加者、利用者は横ばいです		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善を検討しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との情報交換をしています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	6月から9月までの、土日祝日の一般利用者を受付、利用案内しました。また、ファミリーキャンプも開催することができました。大自然の中で、自宅では当たり前のことが、山では自分たちでやらなくてはいけないことが経験できることが大切です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

7頁
令和元年 8月16日
19時16分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02566 スポーツ活動表彰・激励事業

所属長名 名倉 建志
担当者 市川 洋子
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目(施策)	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	004	スポーツ活動表彰・激励事業		
事業期間	平成14年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市体育表彰選考要綱、安城市全国大会等激励金交付要綱			
備考				

【事業分析】

対象	各競技種目で活躍している市民の方が
目的	国際大会、全国大会等に出場する際に励みとなります。
手段	国際大会、全国大会等に代表選手として出場する市民の活躍を激励するため、全国大会等激励金交付要綱に基づき、激励金の交付を行っています。また、選手や指導者の功績をたたえ、励みになるよう全国大会等で優秀な成績を残した選手やスポーツの普及・発展に寄与した人の表彰をしています。
事務内容	激励金交付制度については、制度の周知を強化し、交付者の増加を図りました。 体育表彰制度については、体育協会加盟団体に照会して、優秀な成績を残した選手の把握に努めました。

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	5,050	3,266	3,633
事業費	2,089	2,006	2,373
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,089	2,006	2,373
人件費計	2,961	1,260	1,260
正規(人)	0.47	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	優秀選手等表彰 全国大会等出場者激励 金交付	優秀選手等表彰 全国大会等出場者激励 金交付	優秀選手等表彰 全国大会等出場者激励 金交付

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02566 スポーツ活動表彰・激励事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
優秀選手等表彰	件	40.00 81.00	50.00 171.00	100.00 0.00
全国大会等出場激励金交付	件	110.00 251.00	200.00 249.00	150.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市主催の事業です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	対象となる競技種目の幅が広がっています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	障がい者の大会について障害福祉課と連携できました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	審査事務の効率など事務の改善を経緯等しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との情報共有をしています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	大会出場競技の種類が増加し、審査に悩むこともありましたが。申請者数は昨年とほぼ変わらない数字です。障がい者スポーツの申請者は、市役所障害福祉課と連携したこともあり、29年度はなかったのが30年度5人でした。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

9頁
令和元年 8月16日
19時16分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02567 ホームチームサポーター事業

所属長名 名倉 建志
担当者 河村 泰宏
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目(施策)	002	2スポーツ			
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	003	ホームチームサポーター事業			
事業期間	平成27年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	スポーツに関心のある市民の方が
目的	地元の企業トップチームを応援することにより、より身近にスポーツに親しめるようになります。
手段	安城市をホームタウンとする全国レベルの企業チームを市民サポーターが応援することで、スポーツ活動のきっかけづくりや本市を全国へPRする機会の充実を図ります。また、技術指導会等を開催することで、ジュニア世代の競技力向上、技術向上につなげ次世代を担うトップアスリートの育成を図ります。
事務内容	平成28年5月に事業の立ち上げを宣言する「キックオフ式」を開催しました。市内企業3チームを市民に知ってもらうこと、観戦に来てもらうこと、応援してもらうことを目的に事業を実施しています。

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	7,160	8,040	8,040
事業費	2,561	3,000	3,000
国庫支出金	0	0	1,500
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,561	3,000	1,500
人件費計	4,599	5,040	5,040
正規(人)	0.73	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	ホームチームによるクリニック開催 応援バスツアー実施	ホームチームによるクリニック開催 応援バスツアー実施 日本リーグ開催	ホームチームによるクリニック開催 応援バスツアー実施 日本リーグ開催

事務事業評価シート (2 / 2)

10 頁
令和元年 8月16日
19時16分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02567 ホームチームサポーター事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
安城市をホームチームとする全国レベルの企業チーム	チーム数	3.00 3.00	3.00 3.00	3.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が行っています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市が行っています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	ホームゲームは多くの応援者で会場が埋まります		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	観戦や応援に来てくれる市民から自主応援団の発生を目指します		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市と随時情報交換をしています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	ホームゲームでは、企業の応援団はもとより、一般市民や学生など多くの方に来ていただきました。3チームの活動をもっと身近に感じてもらえる方策を今後も検討していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
令和元年 8月16日
19時16分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02568 シティマラソン・市民駅伝大会事業

所属長名 名倉 建志
担当者 小木 曾 賢
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目（施策）	002	2スポーツ			
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	002	シティマラソン・市民駅伝大会事業			
事業期間	昭和42年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	スポーツをしたいと考えている市民が
目的	ランニング・ジョギングに取り組むようになります。
手段	総合運動公園と市街地を走るシティマラソンと、デンパーク園内と周辺道路をたすきで繋いでいく市民デンパーク駅伝大会の開催を、実行委員会へ補助金を出し運営しています。
事務内容	安城シティマラソンは、安全面の配慮から参加制限を設けました。市民デンパーク駅伝大会では、安全面の配慮からコースの一部変更を行うとともに、タスキ引継ぎの円滑化のため、中継所の位置を変更しました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	16,878	13,174	15,252
事業費	11,271	8,134	10,212
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	11,271	8,134	10,212
人件費計	5,607	5,040	5,040
正規（人）	0.89	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	シティマラソン開催 （12/10） 市民駅伝大会開催 （2/11）	シティマラソン開催 （12/9） 市民駅伝大会開催 （2/10）	シティマラソン開催 （12/6開催予定） 市民駅伝大会開催 （2/14開催予定）

事務事業評価シート (2 / 2)

12 頁
令和元年 8月16日
19時16分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02568 シティマラソン・市民駅伝大会事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
シティマラソン大会参加者	人	3,000.00 3,382.00	3,000.00 3,275.00	3,000.00 0.00
駅伝大会参加者	人	1,100.00 1,614.00	1,300.00 1,645.00	1,300.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が開催する行事です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市が開催する行事です		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	様々な形で参加することで、気、家族やグループの絆が深くなります		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	参加者数は安定しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市と随時情報交換しています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	シティマラソンの受付開始を早め、事務の効率を図りました。大きなトラブルもなく、今後も変更事項は周知を図ります。駅伝は監督者会議を1回から5回に増やしました。事前説明を詳しく聞くことができるなど、参加者には好評でした。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02569 競技スポーツ振興事業

所属長名 名倉 建志
担当者 小木曾 賢
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目(施策)	002	2スポーツ			
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	001	競技スポーツ振興事業			
事業期間	昭和47年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市スポーツ振興補助金交付要綱				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・スポーツ大会補助金管理事務 ・早朝野球大会事業 ・安城選手権大会事業 ・スポーツスクール(教室)開催事業 ・スポーツ観戦推進事業 ・スポーツ選手育成事業 ・スポーツ指導者育成事業 ・自主スポーツグループ育成事業				

【事業分析】

対象	競技スポーツに取り組む人、スポーツに関心のある市民の方が
目的	日ごろの成果やスポーツのきっかけとなる機会の充実を図ります。
手段	安城市競技ナンバー1を決める安城選手権大会の開催やスポーツを始めるきっかけづくりとして、スポーツスクール・教室の開催、西三河以上の持ち回り大会に対し運営経費の一部の補助を行っています。
事務内容	安城選手権大会、スポーツスクール・教室及び大会補助等について、NPO安城市体育協会に委託し、運営等を任せて実施しています。

【コスト】

(単位：千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	28,449	29,840	31,700
事業費	24,039	28,580	30,440
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,491	3,362	2,450
一般財源	22,548	25,218	27,990
人件費計	4,410	1,260	1,260
正規(人)	0.70	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】	安城選手権大会開催 スポーツスクール・教室開催 スポーツ観戦推進事業	安城選手権大会開催 スポーツスクール・教室開催 スポーツ観戦推進事業	安城選手権大会開催 スポーツスクール・教室開催 スポーツ観戦推進事業

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02569 競技スポーツ振興事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
安城選手権大会参加者	人	4,000.00 4,465.00	4,000.00 4,248.00	4,000.00 0.00
スポーツスクール・教室参加者	人	2,100.00 1,755.00	2,100.00 2,443.00	2,100.00 0.00
補助金交付大会参加者	人	1,000.00 1,134.00	2,810.00 0.00	2,910.00 0.00
スポーツ観戦推進事業参加者	人	300.00 450.00	150.00 112.00	150.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	安城市のスポーツの競技力を向上していくために必要な施策です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	それぞれの目的や目標にあった事業へ参加しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画通りに実施できました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	それぞれの事業の参加者の動向を見ながら検討しています		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市と随時情報交換をしています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	体育協会への委託事業として実施しています。参加者の動向を見ながら、事業内容の見直しや検討を行いました。スポーツ観戦事業はポッチャ競技を開催したことを契機に、単独事業として継続開催を検討しています。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1 / 2)

15 頁
令和元年 8月16日
19時16分03秒

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 03001 国際・全国大会推進活動事業

所属長名 名倉 建志
担当者 河村 泰宏
電話番号 75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目(施策)	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	009	国際・全国大会推進活動事業		
事業期間	平成30年度～令和4年度	5年間		
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	きっかけづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	国際・全国大会推進活動実行委員会会則			
備考	オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興を通じ、多くの人がスポーツに親しみ、関わり、健康で豊かな暮らすことができ、市民の元気な笑顔の輪が広がります。			

【事業分析】

対象	カナダ代表チーム世界大会事前合宿の実施や東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー開催することで、市民に「みるスポーツ」の機会を提供する
目的	オリンピック開催機運を市民とともに盛り上げ、みるスポーツやささえるスポーツの機会を多く実施したり体験することで、自らの健康づくりや社会とのつながりを持つことができるようになる
手段	国際大会や全国大会の開催などに協力したり、会場へ足を運び応援したりすること。
事務内容	カナダ代表チームの合宿 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー開催 日本リーグ開催 全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催準備

【コスト】

(単位:千円)

	平成29年度 決算額	平成30年度 決算額	平成31年度 予算額
トータルコスト	0	17,059	22,562
事業費	0	5,089	10,592
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	5,089	10,592
人件費計	0	11,970	11,970
正規(人)	0.00	1.90	1.90
その他経費	0	0	0

	平成29年度	平成30年度	平成31年度
【事務事業活動実績】		カナダ代表チーム事前合宿の実施(8日間27人) 日本リーグ(ソフトボール・バスケットボール)の開催 フラッグツアー開催 全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催受け入れ準備	全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催準備 日本リーグ開催準備 ソフトボール1回 バスケット2回 聖火リレー実施準備 カナダ代表チーム事前合宿準備・日程調整交渉ほか

事務事業評価シート (2 / 2)

評価年度 平成30年度 進捗区分 2次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 03001 国際・全国大会推進活動事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全国大会等の観客数	人	0.00 0.00	5,000.00 6,504.00	9,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県のサービスでは不十分で、市で補完する必要がある		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	「みる」スポーツを見る機会を提供することで、地元チームの応援		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画していた事業宇はほぼ予定通り実施できました		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業開始が平成30年度からなので、実績をもとに検討していく		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との情報交換をしています		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	東京2020オリンピック・パラリンピックを目前に控え、カナダ代表チームとの事前合宿実施の交渉も出場権を得てからでないとの今後の予定が決めれないとの回答でした。しかしながら、30年度の合宿はカナダチームとしても大変満足して終えることができたとの感想をいただき、前向きな検討はしていくことの確認はできました。また、全日本大学女子ソフトボール選手権大会の5年間継続開催するための検討も行いました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。